東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2010年11月26日

私たちの時代の諸問題

親愛なるムスリムの皆様。人類は学問と技術において驚異的な速さで進歩しています。私たちの暮らしには毎日新しい発見、発明がもたらされます。この変化と共に私たちの生き方、価値観、親戚関係、隣近所とのつながり、友人との結びつきも多少変わってきています。「以前のような隣人づきあいはなくなってしまった、誰も、誰のことも信頼できない。人生は味気ないものになってしまった」といった言葉がしばしば語られるようになりました。これらは、技術の発展や近代的な生活様式だけでは人を幸福にすることができないこと、物質と精神の間のバランスが崩れていることを示しています。

親愛なる兄弟姉妹の皆様。啓示のもたらした規律からかけ離れた生き方が、人類にとってどのような妨げとなるか、私たちは目にしています。否定主義、物質主義に基づく行為が今日の世界でどれほど破壊的なものであるか、発展していない国々と並び、「先進国」と呼ばれる国々においてすら、その代償は重いものとなっていることを目にしています。

一方で餓死する人々、また一方で食べすぎのせいで病気になる人々。一方で贅沢な暮らしをする人々、一方では家もない人々。一方では技術のもたらすあらゆる恵みを享受する人々、一方では最低限の条件にさらされた人々。一方で、世界の富の80パーセントを持っていながら、満たされることを知らず、さらに多くを手にしようとする幸運な少数の人々、一方では残りの20パーセントで暮らし、それすら奪われてしまうという怖れの中で生きる人々。啓示から遠ざかってしまったことの結末は、戦争、涙、不正、迫害、規律や基準のない生き方の厳しい現状・・・。

ただし、現在の状況が信者を失望させることがあってはならないのです。信仰があれば、可能性もあるのです。思い出してください。諸世界に慈悲として遣わされた預言者ムハンマドも、無知と迫害が最もひどい状態である環境にあられたのです。一人の人でした。ヒラーで、生命線を失ったような人類を復活させるべく任務を与えられた時には、そのお方はひるむことなく努力されました。啓示の、復活をもたらす知識によって、無知と迫害の集団から幸福な集団を生み出されたのです。山賊から聖人を出現させられたのです。人々に愛情と慈悲を教えられました。慈悲の雨となってあらゆる被造物の上に降られたのでした。

私たちはここで、失われた信頼感を、そのお方の「信頼のおけるムハンマド」という特質によって獲得し、失われた愛情といたわりを、世界への慈悲となることによって復活させ、怒りや憎悪の感情を兄弟愛という意識で消失させ、不正や権利の侵害を公正さという感情で防ぎ、私たちがなつかしく思い起こしている隣人関係、友人関係を「隣人が空腹でいる時に満腹して眠る者は私たちの仲間ではない」という原則によって復活させなければならないのです。クルアーンが新たに下されているかのように、啓示の復活をもたらす知識と誠実な行いによって、人格を形成しなければならないのです。

全世界を公正さ、愛情、平和、そして平安が支配する日を目にすることのできる日を、偉大なる神が私たちに与えてくださいますように。